

(1) 英文原著

1. Okubo H, Ando H, Ishizuka K, Morishige JI, Ikejima K, Shiina S, Nagahara A. : Impact of genetic polymorphisms on the pharmacokinetics and pharmacodynamics of lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma. J Pharmacol Sci. 2022 Jan;148(1):6-13. doi: 10.1016/j.jphs.2021.08.011. Epub 2021 Sep 1.
2. Ikemura M, Tomishima K, Ushio M, Takahashi S, Yamagata W, Takasaki Y, Suzuki A, Ito K, Ochiai K, Ishii S, Saito H, Fujisawa T, Nagahara A, Isayama H. : Impact of the Coronavirus Disease-2019 Pandemic on Pancreaticobiliary Disease Detection and Treatment. J Clin Med. 2021 Sep 16;10(18):4177. doi: 10.3390/jcm10184177.
3. Fukuo Y, Shibuya T, Ashizawa K, Ito K, Saeki M, Fukushima H, Takahashi M, Nomura K, Okahara K, Haga K, Akazawa Y, Nomura O, Ogura K, Okubo H, Nagahara A. : Plasmablastic lymphoma of the small intestine in an HIV- and EBV-negative patient. Intern Med. 2021 Sep 15;60(18):2947-2952. doi: 10.2169/internalmedicine.6837-20.
4. Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Toyoda H, Nakamuta M, Takaguchi K, Watanabe T, Hiraoka A, Uojima H, Ishikawa T, Iwasa M, Tada T, Nozaki A, Chuma M, Fukunishi S, Asano T, Ogawa C, Abe H, Kato K, Hotta N, Shima T, Matsuura K, Mikami S, Tachi Y, Fujioka S, Okubo H, Shimada N, Tani J, Morishita A, Hidaka I, Moriya A, Tsuji K, Akahane T, Okubo T, Arai T, Kitamura M, Morita K, Kawata K, Tanaka Y, Kumada T, Iwakiri K; KTK49 Liver Study Group. Time-course changes in liver functional reserve after successful sofosbuvir/velpatasvir treatment in patients with decompensated cirrhosis. Hepatol Res. 2021 Dec 3. doi: 10.1111/hepr.13739. Online ahead of print.
5. Okubo H, Ando H, Nakadera E, Ikejima K, Shiina S, Nagahara A. :Levocarnitine Supplementation Suppresses Lenvatinib-Related Sarcopenia in Hepatocellular Carcinoma Patients: Results of a Propensity Score Analysis Nutrients. 2021 Dec 10;13(12):4428. doi: 10.3390/nu13124428.

(2) 和文著書

1. 福生有華, 船本麻優美 : 栄養と料理 87(12)医師が診断のために知りたい情報とは? 「おなかが痛い」 ときの受診ガイド (特集 腸を守る! 食べ方&暮らし方) 女子栄養大学出版部, 81-86, 2021-12.
2. 大久保裕直 : 適正使用のための臨床時間治療学 ―生体リズムと薬物治療効果―. 大戸茂弘他編, 診断と治療社(東京), pp173-176, 2022年1月10日発行「消化性潰瘍」

(3) 学会発表

① 国際学会

1. Okubo H, Ando H, Ishizuka K : Impact of genetic polymorphisms on the pharmacokinetics and pharmacodynamics of lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma(Best Poster Award 受賞) , JSH International Liver Conference 2021, Hakata, October 2(Sat.), 2021
2. Okubo H : Session:Management of HCC and Complications during TKI Treatment Management of adverse

event from the pharmacological perspective in patients with hepatocellular carcinoma using tyrosine kinase inhibitor , APASL Oncology 2021, Tokyo, December 17, 2021

3. Okubo H, Ando H, Nakadera E, Ikejima K, Shiina S, Nagahara A. : ~Poster Free Papers~ Lenvatinib Suppresses Lenvatinib-related Sarcopenia in Hepatocellular Carcinoma Patients , APASL Oncology 2021, Tokyo, December 18 2021
4. Fukuo Y, Haga K, Odakura R, Saeki M, Ikemura M, Utsunomiya N, Shibuya T, Okubo H, Nagahara A. : 「Clinical effect of Ustekinumab and mucosal treatment in ulcerative colitis」 GIweek2022 /The 15th IGICS (International Gastrointestinal Consensus Symposium), Tokyo/web, February 12 2022

②国内学会

1. 小田倉里奈：キャリア支援委員会特別企画 第3回若手優秀演題カンファレンス-症例に学ぶ「家族性地中海熱の治療中に腸管ベーチェット病の合併が診断された一例」(ベストカンファレンス賞受賞). 第107回日本消化器病学会総会, 東京, 2021年4月16日
2. 福生 有華, 大久保 裕直, 永原 章仁, 澁谷 智義, 伊藤 顕太郎, 佐伯 至勇, 山形 亘, 高橋 正倫：潰瘍性大腸炎における多剤薬剤スイッチ症例の臨床学的検討. 第107回日本消化器病学会総会, 東京, 2021年4月17日
3. 池村 宗朗, 富嶋 享, 伊佐山 浩通：COVID-19と消化器病診療 COVID-19の流行が膵・胆道疾患診療に与えた影響について. 第107回日本消化器病学会総会, 東京, 2021年4月17日
4. 大久保裕直：グレカプレビル/ピブレンタスビルを用いたHCV治療における高ビリルビン血症. 第4回 J-liver Conference, web 開催, 2021年5月28日
5. 小田倉里奈, 深江治郎, 狩野允芳, 中島明日香, 富施敦仁, 江口博人, 佐藤恵理子, 下泰司：難聴から発症した血管内リンパ腫の一例. 第237回日本神経学会関東・甲信越地方会, web 開催, 2021年6月5日
6. 宇都宮 尚典, 松本 紘平, 上山 浩也, 松本 健史, 永原 章仁：胃内視鏡検診・スクリーニングの現状と問題点 通常白色光観察における白色調平坦・陥凹性胃病変の内視鏡的鑑別診断. 第112回日本消化器内視鏡学会関東支部例会, 2021年6月13日
7. 大久保裕直：薬物動態・薬理遺伝学からみた肝細胞癌レンバチニブ治療. 第57回日本肝臓学会総会, 札幌・web 開催, 2021年6月17日
8. 石塚 敬, 今 一義, 内山 明, 福原 京子, 柳沼 礼子, 池嶋 健一：加齢における食事誘発性脂肪肝炎の増悪と骨格筋萎縮との関連. 第21回日本抗加齢医学会総会, 京都, 2021年6月27日
9. 大久保 裕直, 石塚 敬, 斉藤 紘昭："ワークショップ 3 門脈圧亢進症を伴う肝硬変に対する薬物療法の進歩~QOL, 予後改善を目指して~肝癌レンバチニブ治療における高NH3血症・肝性脳症. 第28回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021年9月16日
10. 石塚 敬, 福生 有華, 斉藤 紘昭, 大久保 裕直, 國分 茂博：パネルディスカッション1 「門脈血行異常症の診断と治療の最前線~IPH・EHO・BCS~」門脈血行異常症におけるIVR治療介入の意義(会長賞受賞). 第28回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021年9月16日
11. 佐伯 勇至, 石塚 敬, 福生 有華, 斉藤 紘昭, 大久保 裕直, 國分 茂博：シンポジウム2 門脈圧亢進症に対するIVR治療~最新の知見と今後の展望~ 門脈圧亢進症性胃症に対する部分的脾動脈塞栓術の効果. 第28回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021年9月16日

12. 小田倉 里奈, 石塚 敬, 齊藤 紘昭, 大久保 裕直: 門脈膿血栓症に対する治療～ IVR 治療介入の意義～. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021 年 9 月 17 日
13. 大久保裕直: 遺伝子多型が肝細胞癌レンバチニブ治療における PK/PD に与える影響. 第 29 回 JDDW (第 25 回 日本肝臓学会大会), 神戸, 2021 年 11 月 4 日
14. 大久保裕直: レンバチニブ起因性サルコペニア～カルニチン補充療法の有用性～. 第 29 回 JDDW (第 25 回 日本肝臓学会大会), 神戸, 2021 年 11 月 4 日
15. 福生有華, 澁谷智義, 芳賀慶一, 長田太郎, 長田太郎, 浅岡大介, 山田俊夫, 小林修, 佐藤俊輔, 萩川真由子, 野村慧, 野村収, 石川大, 大久保裕直, 永原章仁: ベドリズマブの潰瘍性大腸炎に対する長期有用性の検討. 第 29 回 JDDW (第 63 回日本消化器病学会大会), 神戸, 2021 年 11 月 5 日
16. 福生有華, 小田倉里奈, 佐伯至勇, 池村宗朗, 宇都宮尚典, 澁谷智義, 大久保裕直, 永原章仁: 潰瘍性大腸炎におけるウステキヌマブの臨床効果と粘膜治療効果の検討. 第 12 回日本炎症性腸疾患学会, 東京, 2021 年 11 月 26 日
17. 小田倉里奈, 石川大, 野村慧, 伊藤顕太郎, 沖翔太郎, 萩川真由子, 芳賀慶一, 野村収, 澁谷 智義, 永原 章仁: 家族性地中海熱の診断における内視鏡検査の重要性の検討. 第 12 回日本炎症性腸疾患学会, 東京, 2021 年 11 月 26 日
18. 池村 宗朗, 富嶋 享, 太田 寛人, 壁村 大至, 牛尾 真子, 福間 泰斗, 高橋 翔, 鈴木 彬実, 高崎 祐介, 伊藤 光一, 石井 重登, 藤澤 聡郎, 池嶋 健一, 椎名 秀一朗, 永原 章仁, 伊佐山 浩通: 超音波内視鏡下膵管ドレナージが奏功した有症状十二指腸狭窄を呈する Groove 膵炎の 1 例. 第 113 回 日本消化器内視鏡学会 関東支部例会, web 開催, 2021 年 12 月 4 日
19. 大久保裕直: 高 TG 血症を有する NAFLD 患者へのペマフィブラートの肝機能改善効果. 第 44 回日本肝臓学会西部会, 岡山, 2021 年 12 月 9 日
20. 足立 駿祐, 大久保 裕直, 斎藤 紘昭, 福生 有華, 中寺 栄介, 大久保 捷奇, 山形 亘, 佐伯 至勇, 宇都宮 尚典, 池村 宗朗, 小田倉 里奈: C 型肝炎 DAAs 治療で高ビリルビン血症を呈し、用量調節で SVR を得た一例 (奨励賞受賞). 日本消化器病学会関東支部第 367 回例会, web 開催, 2021 年 12 月 11 日
21. 靖 崢、長田 直人、盛重 純一、許 平平、Nazmul Hasan¹、大久保 裕直、安藤 仁: レンバチニブは骨格筋のミトコンドリア障害を惹起する Lenvatinib causes mitochondrial impairment in skeletal muscles. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 6 日
22. 發知佑太、大場次郎、野村智久、杉田学、大久保裕直: パネルディスカッション 3 「門脈亢進症における Splanchnic Caput Medusae と救急治療戦略」門脈亢進症性胃症に対する部分的脾動脈塞栓術の有用性. 第 58 回 日本腹部救急医学会総会, 2022 年 3 月 24 日

(4) 研究会発表

1. 大久保裕直: グレカプレビル/ピブレンタスビルを用いた HCV 治療における高ビリルビン血症. 第 4 回 J-liver Conference (Web), 2021 年 5 月 28 日
2. 大久保裕直: 薬物動態・薬理遺伝学からみた肝細胞癌レンバチニブ治療. 第 57 回 日本肝癌研究会 (鹿児島+Web), 2021 年 7 月 22 日
3. 大久保 裕直、石塚 敬、齊藤 紘昭: レンバチニブによるサルコペニア進行～カルニチン補充の有

用性～. 第 57 回 日本肝癌研究会 (鹿児島+Web), 2021 年 7 月 22 日

4. 大久保裕直: 変わりつつある肝癌診療. 東京城北エリア消化器セミナー (Web), 2021 年 8 月 19 日
5. 大久保 裕直、石塚 敬、斉藤 紘昭: ABCG2 遺伝子多型はレンバチニブ治療の PK/PD に影響を与える. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会, 富山+Web, 2021 年 8 月 28 日"
6. 大久保 裕直、石塚 敬、斉藤 紘昭: レンバチニブによるサルコペニア進行～カルニチン補充の有有用性～. 第 24 回日本肝がん分子標的治療研究会, 富山+Web, 2021 年 8 月 28 日"
7. 小田倉里奈、石塚敬、斉藤紘昭、大久保裕直: 主題演題 「IVR による門脈血栓症に対するアプローチ」(Web) 門脈膿血栓症に対する治療～IVR 治療介入の意義～. 第 24 回 BRTO・TIPS 研究会, web 開催, 2021 年 9 月 17 日
8. 大久保裕直、中寺英介、斉藤紘昭、大久保知美、厚川正則: Gd-EOB-DTPA 造影 MRI を用いた Glecaprevir 高ビリルビン血症発現予測. 第 42 回胆汁酸研究会, 広島, 2021 年 11 月 27 日
9. 福生有華: 講演: 潰瘍性大腸炎の治療—ベドリズマブの長期有効性の検討—. 腸・胃医会, 東京, 2021 年 12 月 1 日
10. 福生有華: 一般演題; アダリムマブが奏功した単純性潰瘍の一例. 第 43 回 IBD&ベーチェット病研究会, 東京, 2021 年 12 月 17 日
11. 大久保裕直: カルニチン補充療法によるレンバチニブ起因性サルコペニア進行抑制効果: 傾向スコアマッチング解析. 第 25 回日本肝がん分子標的治療研究会, 博多, 2022 年 1 月 8 日

(5) 特別講演、招待講演、教育講演

1. 大久保裕直: C 型肝炎の最新治療と地域連携の重要性 THE ELIMINATORS AbbVie Live Seminar (Web), 2021 年 7 月 6 日
2. 大久保裕直: Radiogenomics としての EOB-MRI バイエル画像診断 Web カンファレンス 城北画像講演会 (Web), 2021 年 7 月 16 日
3. 大久保裕直: 薬物動態・薬理遺伝学からみた肝細胞癌レンバチニブ治療 Meet the Expert seminar in 城北 (Web), 2021 年 9 月 24 日
4. 大久保裕直: 薬物動態からみた肝細胞癌カボザンチニブ治療 肝細胞癌薬物治療のこれからを考える～カボメティクス効能追加 1 周年記念～ (Web), 2021 年 11 月 26 日
5. Hironao Okubo: Educational Seminar Sponsored by AbbVie GK HCV Eradication in the SDGs Era, APASL Oncology 2021 (Tokyo), 18 Dec 2021

(6) その他 (座長、司会、地域連携)

1. 福生有華: 座長. アッビー合同会社・EA ファーマ新型コロナウイルス感染症と IBD 診療を考える会, 東京, 2021 年 6 月 29 日
2. 大久保裕直: 基調講演②司会. Intermediate stage HCC の治療戦略を考える会 (Web)2021 年 7 月 14 日
3. 大久保裕直: スポンサーセミナー4 司会. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021 年 9 月 16 日
4. 大久保裕直: パネルディスカッション 1 司会. 第 28 回日本門脈圧亢進症学会総会, web 開催, 2021 年 9 月 16 日

5. 大久保裕直：特別講演②司会．Meet the Expert seminar in 城北，東京，2021年9月24日
6. 大久保裕直：講演 I 司会．第 11 回首都圏 Liver Forum (東京+web)，2021年10月2日
7. Hironao Okubo：Oral 6: Long-term outcomes of ablation with/without other treatment，Chair, 7th Asian Conference on Tumor Ablation (Tokyo), 2021年10月16日
8. 福生有華：パネリスト．持田製薬 IBD 若手医師の会，東京，2021年10月29日
9. 福生有華：講演：潰瘍性大腸炎の治療選択，城西、城北、埼玉南西部 IBD セミナー，東京，2021年11月10日
10. 福生有華：座長．第3回練馬消化器セミナー，2021年11月24日
11. 大久保裕直：基調講演 司会 Intermediate stage HCC の治療戦略を考える会(Web),2021年12月1日
12. 大久保裕直：見逃さないウイルス肝炎．第27回日本臨床衛生検査技師会 首都圏・関甲信支部 免疫血清検査 Web 研修会 (Web)，2022年2月1日～2月28日
13. 大久保裕直：明日から役立つ脂肪肝診療～生活習慣病との関連を含めて～第3回脂質と糖質を考える会 (Web)，2022年2月2日
14. 大久保裕直：肝細胞癌治療剤カボザンチニブ-PK/PD の観点から．カボザンチニブを多面的に考える会 -Clinical Question を深掘する- (Web)，2022年2月24日
15. 大久保裕直：-肝胆膵疾患の既存治療における根治・長期予後を考える-ver2 トピックス 座長．第4回 Meet The Expert Forum 首都圏連携を考える会，2022年3月4日
16. 大久保裕直：Stop! 酸分泌抑制薬の使い方正しいですか？消化器領域 Web Seminar (Web)，2022年3月9日
17. 大久保裕直：薬物動態からみた肝癌薬物療法．第4回城北肝疾患セミナー(Web)，2022年3月11日

(7) 受賞

1. 小田倉里奈（関東支部代表、ベストカンファレンス賞 受賞）：キャリア支援委員会特別企画 第3回若手優秀演題カンファレンス 一症例に学ぶ「家族性地中海熱の治療中に腸管ベーチェット病の合併が診断された一例」第107回日本消化器病学会総会，東京，2021年4月16日
2. 石塚 敬，福生 有華，斎藤 紘昭，大久保 裕直，國分 茂博（会長賞受賞）：パネルディスカッション1 「門脈血行異常症の診断と治療の最前線～IPH・EHO・BCS～」門脈血行異常症における IVR 治療介入の意義第28回日本門脈圧亢進症学会総会，web 開催，2021年9月16日
3. Hironao Okubo, Hitoshi Ando, Kei Ishizuka, (Best Poster Award 受賞)：Impact of genetic polymorphisms on the pharmacokinetics and pharmacodynamics of lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma, JSH International Liver Conference 2021, Hakata, October 2(Sat.), 2021
4. 足立 駿祐，大久保 裕直，斎藤 紘昭，福生 有華，中寺 栄介，大久保 捷奇，山形 亘，佐伯 至勇，宇都宮 尚典，池村 宗朗，小田倉 里奈（奨励賞受賞）：C型肝炎 DAAs 治療で高ビリルビン血症を呈し、用量調節で SVR を得た一例，日本消化器病学会関東支部第367回例会，web 開催，2021年12月11日